

西の菜時記 60号

特集：毛利敬親公没後150年企画展「毛利敬親と野田御殿」

小学生向けサポーターズワークショップ開催



10組にご参加いただきました。和紙についてのお話のあと、実際にちぎりの絵を作ってみました。使用する和紙やちぎりの方で出来上がりが変わります。それぞれに個性溢れる、世界にひとつだけのうちわが完成しました！ちぎりの絵は大人も子どもも夢中になれますね。あっとい間の2時間でした。

ちぎりに絵うちわワークショップ



消しゴムはんこでオリジナルカードを作ろう！



令和3年12月19日(日)、小学生向けの消しゴムはんこワークショップを開催しました。8組17名の方に参加いただきました。講師は山口県在住の消しゴムはんこ作家、烏兎屋の竹友美樹さんです。竹友さんから、消しゴムはんこの安全な彫り方を教わったあと、自分で好きな絵柄を彫ってみました。ちょうど年賀状作成の時期でもあったので、虎の絵を彫る方も多かったです。はんこを彫った後は、好きな色のインクで捺してオリジナルカードを作成しました。



企画展「毛利敬親と野田御殿」



毛利敬親は、長州藩11代藩主毛利斉元の子として江戸で生まれました。天保8年(1837)19歳で13代藩主となります。当時長州藩には莫大な借金があったため、村田清風らを用いて藩政改革に着手しました。藩の人事では門閥にこだわらず実力主義を採用、有能な藩士たちの活躍につながります。冷静な決断によって数々の難局を切り抜け、長州藩は維新において主導的な役割を果たしました。率先して版籍奉還を奏上、隠居後も53歳で亡くなりました。

2021年は毛利敬親公没後150年のため、令和3年4月28日(水)〜8月30日(月)に、企画展「毛利敬親と野田御殿」を開催しました。企画展の内容からエピソードを一部抜粋してご紹介します。

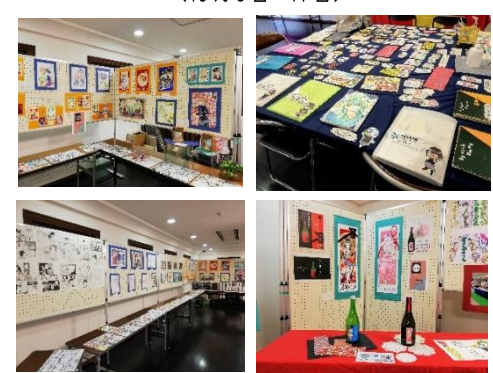
敬親公エピソード① 敬親公 農業体験をする

敬親は藩主となって間もなく、萩城内に水田を開き、自ら田植えや稲刈りを行い、米を収穫したそうです。これは、農作業の大変さを味わい、年貢を納める農民の苦労を知り、藩政に活かそうとしたためです。また、藩庁が山口へ移鎮後、敬親は暇があると三時頃から山口市中を歩きました。百姓が頬被りをして田畑などを耕しており、それを家臣がやめさせようとする。「彼らがせつかく働いて耕作しているのに、私を通るゆえに彼らの頬被りをしているのを制したりするのは、かえって私が歩くのが害になるようになるから、そのような制止は止めさせえ」と家臣を注意されたといわれています。

菜香亭市民ギャラリー 今後の予定

令和3年度 菜香亭市民ギャラリー開催

【My or's bum 企画〜モリ姉の瞳〜】
(10月6日〜11日)



POPの得意な文具専門店の店員さん、モリ姉のイラスト原画を展示しました。山口市内のお店や神社とのコラボ展示もありました。

【小さな小さなモラの世界〜山口にエールを〜】
(11月12日〜14日)



ハナマの手芸品、モラの展示です。何枚も布を重ね、模様を繰り返して描くモラは独特の美しさがありました。

【アトリエ陽だまり作品展 In 山口】

3月10日(木)〜14日(月)
10時〜17時(最終日のみ15時まで)

水彩画「香山」の皆さんによる五重塔などの水彩画を50点以上展示します。

【カメラ片手に漫ろ歩き In 山口】

3月16日(水)〜21日(月)
9時〜17時
(初日のみ13時、最終日のみ16時まで)

せぞろ歩きの会の皆さんによる山口の風景などの写真を約30点展示します。

市民ギャラリー展示者を募集しています。詳細は菜香亭へお問い合わせください。

敬親公エピソード② 二百年ぶりの大軍事演習

敬親は村田清風の提言を受け、軍事改革の一環として、天保14年(1843)萩郊外の羽賀台(福栄地域)で二百年ぶりとなる大軍事演習を実施しました。敬親臨席のもと、陣羽織に陣笠姿で、約1万4千人の軍勢による大操練は、太平の世に慣れた藩士たちの士気を高めました。

敬親公エピソード③ 萩から山口へ

文久3年4月、敬親は城下町萩を立ち、湯田への日帰りの湯治と称して山口御茶屋に入りました。藩の尊王攘夷の方針のもと、攘夷戦での海からの攻撃に備え、萩にあった藩庁を防長両国の中央の地・山口へ移すためです。山口御茶屋を仮の政事堂とし、城下町山口の都市計画がつけられました。萩城内にあった役所も移され政治機能をそなえていきます。その後、現在の山口県庁の地に山口御屋形が建設され、山口で政治が執り行われるようになります。



山口御茶屋跡 (現在は一の坂川交通交流広場)

敬親公エピソード④ 銅像除幕式



亀山公園 毛利敬親銅像

明治33年の毛利敬親銅像除幕式前後では町は様々に飾り付けられました。下堅小路はオモダカや大牡丹の鉢植、久保小路は霞桜、大市は藤棚、諸願小路・銭湯小路は桜花、中市は大花傘、米屋町は紅提灯など、花園のようになっていたそうです。そのなかを余興として湯田と久保小路の芸妓が歩きました。しかし、このときの銅像は、明治39年建立の毛利元徳銅像も含めて、戦争で供出されます。亀山公園の現在の毛利敬親像は戦後に再建立されたものです。

山口市菜香亭 公式Facebook・Instagram・Twitter 更新中！ イベント情報や日々の様子はこちらからどうぞ。



Facebook



Instagram



Twitter

リニューアルしました！



山口市菜香亭ホームページ

令和4年1月26日発行
発行元：山口市菜香亭
指定管理者
特定非営利活動法人
歴史の町山口を甦らせる会